



賽銭をいただいています



その立場立場でなく、ではならぬ人になる

発行
平戸市立平戸小学校
文責 校長 永田健治

児童数 345名
教職員数 34名

創立149周年



発行：平戸市立平戸小学校 〒859-5121 平戸市岩の上町1509番地 TEL：0950-22-9230
E-mail：hirado-syo@educet03.plala.or.jp ホームページ：平戸市立平戸小学校」で検索



2学期も折り返し

充実した学びを継続中

秋の季節にあわせて

秋の収穫を喜ぶ

平戸おくんち

10月25日（水）、爽やかな秋空の下、亀岡神社御神幸（ごしんこう）が行われ、本校児童67名が参加しました。朝の健康観察終了後、亀岡神社に移動した児童たちは、「随神」「赤旗・白旗」「太刀」「賽銭受」「長柄」などの様々な奉仕役ごとに衣装を身にまといました。



10時頃、亀岡神社を出発し、神輿や武者行列などと共に商店街な

どを中心に練り歩きました。



在校児童全学年にもふるさと教育の一環として、御神幸の順路にそって見学に行き、おくんちの雰囲気を感じてもらいました。御神幸に参加した児童は誇らしく歩き、周りの子は武者行列や神馬、厳かな行列に見入っていました。

平戸おくんちの他にも、崎方、浦の町、薄香のおくんに地域の子供たちが参加（計23名）しています。

また、26日（木）には年に一度、亀岡神社



で神楽の舞が奉納される「大大神楽」を2年生と4年生が見学しました。五番「所堅」～十番「神相撲」まで見学し、迫力ある舞を鑑賞しました。



このような経験は大人になっても、きつと思いつに残ることでしよう。また、ふるさと平戸を愛する心を育むとともに、次の担い手として、さらには、次の世代の者に引き継がれていくものと考えています。

頭を垂れる稲穂

稲の収穫

10月20日（金）、5年生が丸田さんのご指



導の下、稲刈りを行いました。6月に田植えた苗が見事に成長し、稲穂が黄金色に実っていました。子供たちは軍手に鎌を持ち、初めは慣れない手つき腰つきでしたが、徐々にコツをつかみ、刈り上げることができました。手作業による作業の大変さと収穫の喜びを感じたことと思います。収穫した稲はこの後、精米していただき、新米を材料にした料理を作って食べる予定です。ご指導いただいた丸田さんはじめ、お手伝いくださった方々には感謝申し上げます。

平戸小学校区通学合宿

10月26日（木）～28日（土）に未来創造館



スタッフの方と開校式

で5年生14人が、平戸小学校区通学合宿（二泊三日）に参加しました。目的は、「子どもの人間関係の強化や生活基盤を育むとともに、子どもを核とした、ぬくもりある地域コミュニティの再生」です。この合宿での生活は原則、子供たちに工夫させ、食事も自分たちで作るなど子供たちの自主性を尊重します。そのためスタッフ（実行委員会）は、子供の世話をするのではなく、子供たちを見守る立場です。子供たちは集団生活のなかで、相手の気持ちを考え、自分の主張との折り合いをつけることの大切さ、感謝の心などを楽しみながら学びました。

次年度新一年生集合

10月24日(火)に本

校にて、次年度平戸小、田助小、中野小に入学する未就学児が就学時健診を行いました。入学予定は平戸小56名、田助小6名、中野小6名です。少なくとも一人は、私も健診の様子を見ていましたが、子供たちは、保護者の方と一緒に、各担当の先生の指示をしっかりと聞ける子ばかりでした。来年の4月の入学式が楽しみです。

その他にも嬉しかったことがあります。朝の時間を利用して場作りを6年生が25分間で完了したことです。担任等からの指示をしっかりと聞き、自分の担当



就学時健診のようす

を責任をもってやり遂げることができました。素晴らしい6年生です。

平戸ふるさとカルタで平戸を学ぶ

P.T.A行事として11月19日(日)開催予定の平戸ふるさとカルタ大会にむけて、各学級でカルタに取り組んでいます。

コロナ禍の影響で開催が滞った経緯もあり、カルタ大会のルールを知らない子供も多かったためです。ふるさとカルタは、旧平戸市の歴史や文化、自然を学ぶことができ、ふるさと教育にも生かせる教材です。伝統的な遊びであるカルタを楽しむながら、ふるさと平戸を学ぶよいきっかけになると考えています。



R4年度の大会

不審者から命を守る

10月18日(水)、不

審者が学校に侵入した場合の訓練を行いました。スクールサポーター

の近藤さんから、不審者の見分け方、不審者の行動、ランドセルをつかまれた時の逃げ方、SNSでの被害、さす

またの使い方など子供と一緒に学びました。

平成13年に大阪府で起きた悲しい事件を教訓に、今回の訓練の振り返りを行いました。



市美展入賞おめでとう

平戸市P.T.A連合会長賞

画の部

「釣られたアラカブ」
5年 西 純志



平戸観光協会会長賞

画の部
「和歌」

6年 浦上叶愛

奨励賞 画の部

「やきたてパン」

1年 福田結人

「二人でプール」

3年 野崎滉太

「不思議な種から動物

が生まれたよ」

4年 富永怜愛

奨励賞 書の部

「尊敬の念」

6年 坂野まりん

入選 画の部

1年 吉田光織

3年 小川 瑠

3年 坂野杏樹

6年 眞浦愛夢

6年 石田優衣

【書の部】

4年 吉浦 杏

5年 吉岡藤理

5年 山内映奈

6年 松本純弥

【工の部】

5年 川上純士



「タイルの植木鉢」
川上 純士

睡眠を変えて「気になる行動が消えた子」がたくさんいる。

私が

最近購

入した

「発達

障害」と間違われる子どもたち(著・成田奈緒子)という新書の内容を紹介します。

著者によりますと、現在、「発達障害もどき」(著者の造語・発達障害の診断はつかないのに、発達障害と見分けのつかない症候を示している状態)が増えてきている。

特に、幼児期によくみられる。原因として、生活リズムの乱れとテレビやスマホ、タブレットなどの電子機器の多用

・原始的な脳の発達の乱れが考えられる。特に睡眠不足が「発達障害もどき」を引き起こす理由として

●成長ホルモンの分泌が十分でないため、発育が遅れる。

●セロトニンが分泌されず、また、セロ



トニン神経系が育たないために、イライラしたりキレやすくなったり、落ち着きがなくなる。

●脳も体もリセットされていないため、疲労感がぬけず朝から机に突っ伏して

たり、授業に集中できなかつたりする。

子どもがちよっとしたことでも怒りやすい、コミュニケーションに悩みがあるなら、まずは睡眠を見直してみよう。

生活習慣の改善、特に睡眠時間の確保は、子供の脳の発達と心と行動の安定に密接な関係があることが事例とともに紹介されています。

…なるほど。

ゲームやスマホの長時間使用や家族と過ごす夜型生活の増加により、睡眠がしっかりとれていない子供たちが

増えていることが、「発達障害もどき」が増えている要因の一つではないかと考えさせられた新書でした。